

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU



June 2016  
No.760



旧武石家住宅活用事業「むかしばなしと昔の遊び」(弥彦村)

晩秋の一日、囲炉裏を囲んで昔話を聞き、串焼魚を味わいます。

## 4~5 特集 県大会 妙高市大会 ~ようこそ妙高へ~

妙高市 山本 毅

CONTENTS

- |   |                  |                                                                                                             |
|---|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 | トピックス            | 本会 理事会・評議員会開催                                                                                               |
| 3 | 視点<br>ひろば<br>掲示板 | 「大会テーマ」に思うこと 下越教育事務所社会教育課長 伊比 宗宏<br>「人の役に立ち働く幸せを」 南魚沼市社会教育委員・公連審委員 会長 中俣 敏雄<br>「第2回県公連理事会」「第1回公民館月報編集委員会」開催 |
| 6 | 実践記録シリーズ         | 「ラ・ラ・ネット公民館」 新潟県立生涯学習推進センター                                                                                 |
| 7 | サークル交流<br>素顔拝見   | 「たくさんの笑顔を」(十日町市) / 「舞踊で笑顔と健康を届けます」(糸魚川市)<br>和田 正利さん(加茂市) / 浅井 健五さん(魚沼市)                                     |
| 8 | お元気ですか<br>ネットワーク | 「出会いに感謝」 新潟市・佐藤 千恵さん                                                                                        |

TOPICS

本会 理事会・評議員会開催

本会の第1回理事会・評議員会が、5月20日(金)に新潟市中央公民館で開催されました。

会議には、来賓として、県教育庁生涯学習推進課から

生涯学習推進課係長

長谷川智泰様

同 副参事

中川 日里様

を迎えました。



あいさつ 長谷川係長 左は中川副参事

会議の内容は、当紙3月号に本年度の活動基本方針、事業計画を掲載しましたので省略します。  
会議では、新たに次のことが審議され承認されました。

1 本年度の役員が決定しました。



早川新会長

- 会長 早川 寿男(上越市)
- 副会長 五十嵐政人(新潟市)
- 理事 松川 稔明(五泉市)
- 水島 幸枝(長岡市)
- 田澤 紀雄(阿賀野市)
- 池田 渉(胎内市)
- 佐藤 弘(南魚沼市)
- 内山 純一(津南町)
- 渡辺 孝志(糸魚川市)
- 越前 範行(佐渡市)
- 大塚 和子(魚沼市)
- 伊藤 英策(新発田市)
- 田嶋 雄洋(村上市)
- 古澤 徹(燕市)
- 齋藤 祐之(阿賀町)
- 渡辺佳津志(聖籠町)
- 稲家 誠(関川村)

- 川村三千男(粟島浦村)
- 金子 成郎(三条市)
- 高橋 達也(柏崎市)
- 渡邊 善則(小千谷市)
- 和田 正利(加茂市)
- 大島 満(十日町市)
- 刈屋 正人(見附市)
- 小森 順一(弥彦村)
- 会田 一(田上町)
- 佐藤 亨(出雲崎町)
- 岩崎 裕一(湯沢町)
- 入澤 勇太(刈羽村)
- 山本 毅(妙高市)
- 田原 理
- 島津 和子
- 川村三千男(粟島浦村)
- 金子 成郎(三条市)
- 高橋 達也(柏崎市)
- 渡邊 善則(小千谷市)
- 和田 正利(加茂市)
- 大島 満(十日町市)
- 刈屋 正人(見附市)
- 小森 順一(弥彦村)
- 会田 一(田上町)
- 佐藤 亨(出雲崎町)
- 岩崎 裕一(湯沢町)
- 入澤 勇太(刈羽村)
- 山本 毅(妙高市)
- 田原 理
- 島津 和子

2 特別委員会(自主財源確立のための調査検討委員会)の解散

この委員会は、当会の財政運営について検討する会ですが、健全運営に見通しが立ったことから本委員会を解散することになりました。

3 特別委員会(公民館月報編集委員会)の委員は次のと

おりです。

- 小林 朋広(県推進センター)
- 丸山 聖乃(上越市)
- 高橋 達也(柏崎市)
- 小森 順一(弥彦村)
- 伊藤 英策(新発田市)
- 鴨井 理紗(新潟市)
- 伊藤 義則(新潟市)
- 田原 理(事務局)

4 永年勤続者表彰について

県大会において永年勤続者表彰を行います。その受賞対象について次の変更がありました。公民館正規職員を対象から除く



県大会の説明 妙高市山本館長

(田原)

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行  
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

# ひろば

## 「人の役に立ち 働く幸せを」

南魚沼市社会教育委員  
公民館運営審議会委員  
会長 中俣 敏雄



人はどういつ時に、喜び・幸せを感じるのか？  
人から愛される事、人にほめられる事、人の役に立つ事、そして人に必要とされる事、これは人間にとつてとても大切な「4つの幸せ」です。この中で愛される事以外は、働く事で得られる事だと先輩から教えていただきました。また働く場である方から「あなたのおかげでよかったよ」と云われたことに生きがいを感じます。「ありがとう」と云

われると「ああ本当にやって良かったなあ」と思います。人の役に立つてこそ「ありがとう」と云われるわけです、仕事のやりがいとなるものと思います。相手から必要と思われる時こそ、相手の自分に対する思いが生まれてくるのだと思います。若い人に仕事だけ教えてもなかなか理解してもらえません。彼らのもっている知識を踏まえて、彼らの生きがいなどについて話しをする事ができれば、彼らを理

解し安心して仕事をまかせる事ができるものと思います。  
相手にどうやって思いを伝えられるのか、自らの思いを伝えることができた時、それは自らの存在を認められたことであり、それがわたしの喜びであり、さらなる自信となります。  
若い人達が自立し、社会参加できることを願い、「人の役に立つ人間となつてほしい」これがわたしの若い世代のみなさんへの思いです。

# 視点

## 「大会テーマ」に 思うこと

下越教育事務所社会教育課長  
伊比 宗宏

「今、なぜ公民館が必要とされているのか？」公民館の存在意義を問う〜  
目にしたことがある方もいらつしやると思います。これは、今年度開催予定の全国公民館研究集会の大会テーマです。  
平成の大合併から、10年以上が経過しました。下越管内では、「常勤の職員が配置されなくなりました。」旧市町村の公民館事業や教室講座は継続されつつ職員数は、合併前に比べ、大幅減になりました。「地域課題の

解決のために講座や教室を企画しても、なかなか参加者が集まりません。」等々の声が聞かれます。  
そのような状況の中、下越管内のどの市町村も、例えば公民館運営に地域の方々から参画していただく、「公民館サポーター」や「公民館支援隊」の結成や市民講座の企画運営に地域の方々の方々の参画を得るなど、「地域」の公民館を並々ならぬ努力と工夫を凝らしながら、守り続けています。

どの取組も、公民館の職員の方々だけが、「公民館がなぜ必要か？その存在意義は？」を考え、運営するのではなく、地域の方々と共に考え、実践につなげている取組です。  
この大会テーマを公民館だけの課題と捉えるのではなく、そこに住む方々にも問い返し、課題の解決に向け、共に「できることを出し合う」ことが、各公民館のますますの発展につながっていくものと考えます。

## 掲示板 HOT NEWS

### 「第2回県公連理事会」「第1回公民館月報編集委員会」開催

#### 1 第2回県公連理事会開催予定

事業計画により第2回理事会を下記により開催します。

- (1)日時 平成28年6月10日(金)13:00～16:30
- (2)会場 新潟市中央公民館 404講座室
- (3)内容 ①県大会における表彰候補者の選考  
②県大会開催の準備状況について

#### 2 第1回公民館月報編集委員会

事業計画により第1回公民館月報編集委員会を下記により開催します。

- (1)日時 平成28年7月7日(木)13:30～16:30
- (2)会場 新潟市中央公民館 303講座室
- (3)内容 ①平成28年度紙面内容の検討  
②後期記事執筆割当の確認  
③特集原稿執筆者の検討



## 特集

## 県大会 妙高市大会 くようこそ妙高へ



妙高市公民館 館長  
山本 毅

第67回新潟県公民館大会が7月15日(金)、妙高市文化ホールを会場に開催されます。大会当日まで残すところ1ヶ月あまりとなりました。上越地区の公民館関係職員が大会の成功に向けて協力しながら準備を進めています。

## 1. はじめに

今大会のテーマは、「若者が参画したくなる公民館を目指して」次世代につながる公民館活動を考える」です。

このテーマは、公民館を運営する私たち職員にとって、共通の課題の1つではないでしょうか。今大会は、このテーマを軸に、記念講演に始まり、アトラクション、事例発表まで一貫して「若者」をキーワードに大会を進めたいと考えています。そして、少しでも今後の皆さんの活動のヒントになればと願っています。

## 2. 「若者」を公民館に巻き込むには

今大会の記念講演は、大会テーマに沿う形で「若者」をテーマにしています。

講師は、東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤さん。牧野さんの大学での専門分野は、社会教育や生涯学習であり、最近では、自治体と一緒にやって公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニケーションの構築を進めたりと全国各地で活躍中です。牧野さんの講演は、全国各地での調査や研究による様々な事例から、「若者」を公民館活動に巻き込むための具体的な手法を示していただけのものであり、今後の公民館活動において、必ずやヒントになると思います。

## 3. 「若者」たちの躍動する姿をご覧ください

午後の部の冒頭に行われるアトラクション。今大会は、地元妙高市立妙高高原中学校吹奏楽部によるマーチング演奏です。

妙高高原中学校吹奏楽部は、昨年まで17年連続新潟県代表として推薦され、西関東マーチングコンテストに参加しています。平成24年には全国大会に出場するなど、その実力は折り紙つきです。また、年間20回を超えるステージに出演し、地域内外から愛されている吹奏楽部です。

大会当日は、アトラクションとして、ステージドリ

ル演奏を披露していただきます。初めてご覧になる方もそうでない方も、ステージ上を所せましと演奏する姿に感動すること間違いなしです。アトラクションも楽しみの1つとしてご来場ください。



妙高高原中学校 マーチング演奏

## 4. 「若者」に絞った事例発表

午後の事例発表は、3地区(別記参照)から発表していただきます。

1. 新潟市 西地区公民館

近藤

文子さん

他1名

- 2. 中越地区 南魚沼市公民館 牛木 治さん
  - 3. 下越地区 阿賀町公民館 清田 亮さん
  - (1・2・3は発表順)
- いずれも「若者」をテーマに絞った発表になる予定です。

**5. 上越地区の特産品をご用意**

第67回大会は、上越地区3市が協働して大会を盛り上げるために協力しています。物産販売コーナーも3市の魅力あふれる特産品を用意しています。

会場地である妙高市コーナーでは、特産である市内の3つの酒蔵「鮎正宗」、「君の井」、「千代の光」の3銘柄の清酒や美味しい「妙高産コシヒカリ」、障がい者就労支援施設「ほっと妙高」で手作りされているお菓子や米粉パン、小物入れなどをはじめ、全国有数の入込客数を誇る「道の駅あらい」や市内の農産物直売所からの臨時出店もあります。また、上越市や糸魚川市からもそれぞれの市を代表する特産品が出店される予定です。



妙高の銘酒

上越3市は、豊かな自然に恵まれており海の幸から山の幸まで各種の特産品が揃います。こちらも楽しみにお越しください。

**6. 皆さんの来館をお待ちしています**

昨年の第66回大会から参加費が1,000円になつております。今大会も多くの皆さんから参加していただけるよう1,000円で開催します。

7月15日(金)の大会当日まで残すところ1ヶ月あまりとなりました。準備は、着々と進んでいます。当日は、遠方のかたからも「来て良かった」と言ってもらえるような大会運営に努めて参ります。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。



妙高山 いもり池



北陸新幹線 上越妙高駅

**● 日程**

- 10:00 受付
- 10:30 開会式  
公民館永年勤続者表彰式
- 11:00 記念講演  
テーマ：公民館活動に参加する若者を増やすには～公民館活動に若者を巻き込む方法を探る～  
講師：東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤氏
- 13:00 アトラクション：妙高市立妙高高原中学校吹奏楽部によるマーチング演奏
- 13:15 新潟市 1件  
中越地区 1件
- 15:15 閉会式  
下越地区 1件

**〈大会事務局〉 第67回新潟県公民館大会事務局**

〒944-8686 妙高市栄町5番1号  
(妙高市教育委員会生涯学習課内)  
TEL 0255-174-10034 (直通)  
FAX 0255-172-13902  
E-mail: syogaigakushu@city.myoko.niigata.jp

○大会参加申込みは6/3発送の開催パンフレットの申込み用紙により、6/27までにお願います。

# 実践記録シリーズ

## 219

### ～公民館をとおして、地域を学び、地域とつながるサイト～

#### 新潟県立生涯学習推進センター

#### 「ラ・ラ・ネット公民館とは」

ラ・ラ・ネット(新潟県立生涯学習情報提供システム)の中に「ラ・ラ・ネット公民館」という新たなページが出来上がりました。県内の公民館の情報が載っています。各公民館のホームページにもリンクできます。

県内公民館の情報発信、情報共有の場として活用できる公式サイトです。



#### 「情報発信・情報共有」

各公民館の教室・講座や催物、活動の様子など、簡単に情報を発信することができます。

市町村のホームページとラ・ラ・ネットマイページをつまぐ活用することで広報の効果が上がります。また、各公民館で行われている講座や活動内容などの情報を共有することで、事業立案やちらし作成等の参考になります。情報収集、提供の場として、活用してください。



#### 「マイページを利用するには?」

ラ・ラ・ネット公民館から情報を発信するには、IDとパスワードが必要になります。利用を希望する団体に、IDとパスワードを発行します。ラ・ラ・ネットのトップページから

#### ログインし、情報を発信することができます。

学習機会、お知らせ、活動日誌、イベントカレンダーが利用できます。具体的な利用方法については、ラ・ラ・ネット公民館利用手引書(ラ・ラ・ネット上からダウンロードできます)を御覧ください。



#### 「マイページを利用している公民館」

- ※ID・PWを発行している公民館
- 新潟市 中央公民館・中地区公民館・豊栄地区公民館・北地区公民館・白根地区公民館・東地区公民館・石山地区公民館
  - 魚沼市 堀之内公民館・小出北部公民館
  - 伊米ヶ崎公民館
  - 上越市 安塚地区公民館・頸城地区公民館
  - 柏崎市 柏崎公民館
  - 加茂市 加茂市公民館
  - 新発田市 加治川地区公民館
  - 糸魚川市 磯部地区公民館
  - 田上町 田上町公民館
- 現在、17の公民館が利用(申請)しています。

#### 「利用者の声」

「操作方法が簡単で使いやすい。」

「ほかの公民館の情報をみることで、と

ても参考になる。」

「市町村のホームページは、載せることができる情報に制限があるので、ラ・ラ・ネット公民館と使い分けて情報を発信できてよい。」

「活動日誌等で、活動の様子を伝えることができている。」

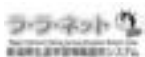
「今後、もっとたくさん公民館の情報が共有できるとうれしい。多くの公民館がラ・ラ・ネット公民館を利用して情報を発信してほしい。」

#### 「いつでも、どこでも、だれでも」

県内の公民館をつなぐ「ラ・ラ・ネット公民館」をより充実させていくために、新潟県公民館連合会と連携しながら、利用促進に努めていきます。県内の公民館の情報を「いつでも」「どこでも」「だれでも」共有できる「ラ・ラ・ネット公民館」を目指していきます。

まずは、「ラ・ラ・ネット公民館」で今すぐ検索！使い方やラ・ラ・ネット公民館への要望等何かありましたらお気軽に連絡してください。

(文責 若月)







たくさんさんの笑顔を

歌声サークル

私たちのサークルは、平成22年に松之山公民館の教室終了後に誕生した、小さなサークルです。活動日は、第1・第3月曜日の午後7時半からの約2時間です。メンバーは女性6名、男性4名で和やかに楽しみなが活動しています。レパートリーとしては、唱歌や歌曲、ポップスなど親しみやすいメロディーの曲を歌っています。が、大部分はオリジナルの編曲で歌っています。発表の場としては、地域の文化祭等への出演、老人ホームなどへのポラン



ティアですが、いろいろな場でたくさんさんの笑顔を頂いて大変うれしく思っております。

十日町市・松之山歌声サークル  
代表者 保坂 清記

舞踊で笑顔と健康を届けます

創作舞踊・嘉寿紅会

この会は2000年に発足、流派にとらわれず自由な振付で3才〜80才強まで主に新舞踊を中心に楽しく踊っています。現在会員は30人程、おけいこはそれぞれの地区公民館で



糸魚川市・嘉寿紅会  
代表 福嶋 敏枝 記

行っており、その地区の敬老会や文化祭等に発表させて頂いております。又老人ホームへの慰問は年に7〜8回、子供達が参加するとても喜ばれ、最後には入所の皆様と一緒に「北国の春」を歌ったり踊ったり、握手をしたりして交流しております。その他文化協会フェスティバルや地元カラオケクラブのチャリテイ発表会等にも友情出演、忙がしさの中にも練習間のお茶やお漬物等頂きながら、笑顔と健康作りに励んでおります。

加茂市公民館  
館長 和田 正利さん



昨年の4月に来られました和田正利館長を紹介します。公民館に来られる前は、福祉関係の職場に20年間勤務されておりました。

公民館では市民大学講座、シニア教室などを担当されています。

特に、シニア教室は大変人気が高く、受講生は毎年約160人申し込みがあり、館長の人柄もあり、年々参加者が増えております。参加される方は、元気で健康な方たちばかりで、楽しい話題に笑いが絶えず、明るい雰囲気となっております。

最近、ご家庭では、子犬のトイプードルを飼われたそうで、お散歩も日課に加わったとのこと。奥様と高校生のお子様と子犬のリリーちゃんに囲まれて、ご家庭でもきっと笑いが絶えないことと思います。

なお、公民館は加茂山公園の中にあり、加茂市の中心に位置しています。加茂山公園にお越しの際は、是非遊びに来てください。

(加茂市公民館 野村 直美 記)

入広瀬地区公民館  
館長 浅井 健五さん



3年前から館長として勤務しています。20年程前にも旧入広瀬村で公民館担当を経験され、50歳目の前に退職。その後前任者からの強い要望で現在に至っています。ふるさとの活性をと新規事業を立ち上げました。「ふるさとを歩こう」「花炭をつくろう」「案山子をつくろう」など…。

地域の方を巻き込んで事業展開、またコミュニティ協議会と共催で、小・中学校スクラム体育祭で応援団を結成、公民館ギャラリーに写真、絵画、趣味作品等発表の場を提供。

公民館事業には大勢の方から協力いただいていることから、自らゲートボール協会会員となり、また地区老人クラブ両方の事務局も引受け、「仕事柄いろんな方とのコミュニケーションが大事」がモットーとか。年7回発行の地区「公民館だより」に自らコラムを担当、また毎号各層の方から投稿、寄稿をいただき「私の出番」として掲載しています。

(公民館主事 佐藤小百合 記)

素顔拝見

ネットワーク



主管 木下会長



新潟 早川会長

「第1回関プロ理事会開催」

今年度の第1回関プロ理事会が5月12日(木)13日(金)に開催予定地の相模原市で行われ、理事の早川会長と田原事務局長が出席しました。

会議冒頭、大会主管会長があい

さつを行い、多数の参加を呼びかけました。

関プロの新役員は内規のとおり決定し、本県の早川会長は前任の任期を引き継ぎ会計監査役に選出されました。

また、今年の関プロ大会の詳細が協議され、いずれも原案どおり承認されました。来年度の群馬大会の開催概要も示され、前橋市を中心に開催される

ことが決定しました。2日目は、主会場を中心に視察が行われました。



主会場グリーンホール視察



三条市の事例発表会場

お元気ですか

「出会いに感謝」

佐藤 千恵 (新潟市)



良き友との出会いが、あなたを成長させます。まさに、この言葉通りの私の人生です。

私は、元來体を動かすのが好きだったので、西地区公民館の運動サークルの会員になってから、今年で33年になります。長年運動を続けた結果、健康に恵まれ、80歳の現在も充実した日々を送っています。今では、レクリエーションダンスと、ヨーガを指導す

る立場になりました。2つのサークル共、週1回公民館で、楽しく体を動かしています。基礎的な体力維持だけでなく、大勢の人から刺激を一杯受けるので、認知症予防にもなります。

年齢を重ねても、体力のあることが、いかに幸せなことか、行動力、気力に繋がります。輪が大きく広がります。体力と、気力は車の両輪です。自分に合った運動を継続するこ

とが大切です。

公民館で、多くの人に出会ったことは、私自身の人間形成に大きく影響したと振り返っています。価値観の同じ人、違う人、見識の優れた人、他人に寛容で誠実な人、など多種多様な人との出会いを通して、私の思考の幅も広がったと、自負しています。

生涯学習の場としての公民館が、地域社会で担う役割は大きいと思います。今後共、新しい出会いを求めて、公民館へ足を運びたいと思っています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

河川愛護月間

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。本会でも、良好な河川環境の保全・再生のため、地域住民の河川愛護意識の醸成に協力しています。

新潟県河川協会

会長(加茂市長) 小池 清彦

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

「マスク」着用者が多い国は日本と中国。中国は大気汚染で必要とはいっても北京など大都市周辺だけ。日本みたいに全国でマスク着用者が多いのは世界でも珍しく、外国の人から見ると異様に見えるらしい。着用の理由はいろいろあるのだから、先日のテレビ番組のインタ

ビューでマスクをしている人が「スッピンだから顔を隠している」と言っていた。顔を隠すためのマスクなら、強盗と同じではないか。先日の研修会で事例発表者が最後までマスクを外さなかった。大風邪でも引いているのかと思ったがそうでもないらしい。表情を隠すためなのか、ファッションとも思っているのか、なんだかすっきりしない。(田原)